



「月の学校 (3)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

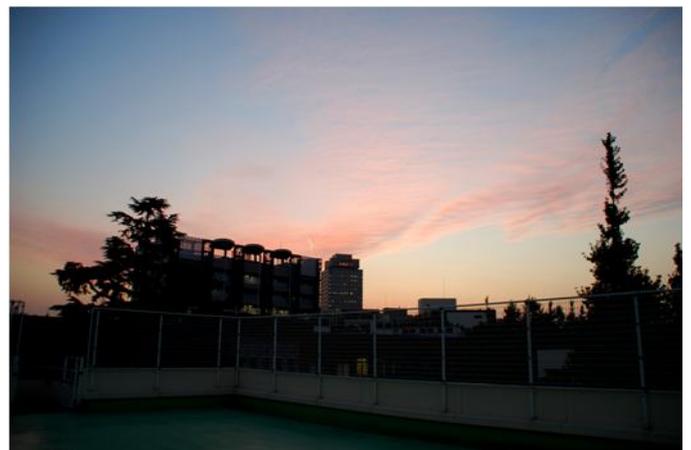
2年生の「月の学校」のメイン・イベントは、何と言っても、みんなで「スーパームーン」を見ることだ。それも、「昇ってくる一瞬」をねらいたい。会場は、小学校の屋上だ。計算では、9月28日の東京の月の出は、17時38分・ほぼ真東となる。しかし、周囲・・・特に東側には屋上よりも高いビルが多く、実際に月が昇ってくる時刻は18時30分頃になりそうだった。

月見団子を食べ終わって、屋上に子どもたちが集まってくるのは、18時前の予定だ。月が昇ってくるまでの間、「屋外スライドショー」をすることにした。もともとは、「雨対策」「曇対策」に体育館で上映する為に、私が用意したプログラムだったのだが、晴れても上映しよう・・・ということになったのだ。

実は、この方法は10年ほど前に、一度試したことがある。しかし、当時のプロジェクターは性能が悪く、あまりいい成績はあげられなかった。今回も、明るいうちはよく写らず、心配だったが、周囲が暗くなると、ものすっごくよく映ってきた。



これはすごい！自分で勝手に感動した。理科室にいた同僚をひっぱり上げて、「どうですか？」と聞いたら「マジ、すげー！」と称賛してくれた。月が出る前には、もっと真っ暗になるだろう。ここに、月やオーロラ、星座の写真を映すのだ。ワクワクする。



屋上での上映の準備は、子どもたちが月見団子を食べている間・・・まだ明るいうちにしておいた。この写真のようなシステムになる。屋上には、幸い凹凸の少ない大きな壁面がある。ここに、高輝度のプロジェクターで画像や動画を映す・・・という作戦だ。

屋上で、上映の準備をしているうちに、すっかり日が暮れてきた。西の空には巻積雲が残っているが、幸い東側は雲がない。これは、非常に楽しい、「スーパームーン観望会」になりそうだと、期待がふくらむ。そうこうするうちに、階段を上ってくる、子どもたちの声が聞こえてきた。サア、いよいよだ。(つづく)